

人権と多様性の 尊重

TOYO TIREのSDGs

(2030年のあるべき姿)

- 従業員が安心して挑戦し続けることができる労働環境を提供することで、多様な人々が対等に働く機会を得て、活躍できる社会づくりに貢献する。
- 持続可能な発展を支える人材を育てることでSDGsが主流となる社会づくりに貢献する。
- グローバルネットワークの強化により、地域の雇用促進と経済の発展・安定化に貢献する。

優先的に取り組むべき課題

- 人権尊重責任の遂行
- 国際慣習法に照らした労働基準の見直し

優先的に取り組むべきと考える理由 (機会とリスク)

TOYO TIREがグローバル企業として今後も成長を目指すには、ステークホルダーの多様性を理解し、人と社会に思いやりと感謝の心を持ち、多様化するニーズに誠意を込めて対応すること、その環境づくりとして、さまざまな背景を持つ個々の個性や価値観を生かして能力を発揮できる組織をつくることが重要と考えています。そのため、国際規範を支持・尊重し、企業活動が人権に悪影響を与えるリスクを低減するとともに、人権の享受を支持・促進する機会としていくことを、優先的に取り組むべき課題と位置づけています。

2019年度の重要な取り組み

- 人権に関するトップメッセージ発信
- 働き方改革を継続
- デジタル化推進室*を設置

*2020年2月にデジタルイノベーション推進本部へ組織改正

マネジメント手法

方針

TOYO TIREは、世界人権宣言や労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言、国連グローバル・コンパクトの10原則など、人権・労働に関する国際規範を尊重しています。そして、人権の尊重責任を全うするため、「人権・労働に関するグローバル方針」を策定し、当社グループの企業活動の影響の及ぶ範囲内における人権の擁護と発展に対し、積極的な貢献を行います。特に職場環境においては、安全かつ健全な労働条件を提供するとともに、人事慣行における差別の禁止、および直接、間接を問わず、強制労働または児童労働の不使用を徹底します。また、当社グループの調達活動における人権尊重責任の姿勢を「TOYO TIRE グループ CSR 調達ガイドライン」に示し、当社グループが人権侵害に加担しないよう、お取引先とも協働して人権の享受を支持・促進します。

また、ダイバーシティ推進を重要な人事政策の一つと位置づけ、多様な人材の育成・活躍のための制度の充実を推進します。なお、誠実に企業活動を行うためのグループ各社共通の行動原則として定める「TOYO TIRE グループ企業行動憲章」において、人権および各地域の文化、慣習を尊重した経営を行うこと、そして職場において、お互いの多様性を尊重することを掲げています。

「人権・労働に関するグローバル方針」について、詳細は Web サイト (https://www.toyotires.co.jp/csr/pdf/human_rights_ja.pdf) をご参考ください。

(「TOYO TIRE グループ CSR 調達ガイドライン」については重点テーマ4、「TOYO TIRE グループ企業行動憲章」については重点テーマ7を、それぞれご参考ください)

目標

職場における人権を尊重し、あらゆる差別の撤廃とダイバーシティの推進に努めます。

責任 (2020年4月現在)

コーポレート統括部門管掌執行役員